

— 法人資料室展示のお知らせ —

日本で書物が初めて作られたおよそ1300年前、その装丁は「**卷子本(かんすぼん)**」と呼ばれる巻物の形式でした。卷子本から始まった和本は、装丁のかたちや複製技術の変遷を経ながら、江戸時代には広く庶民へと普及していきます。

今回、二松学舎大学附属図書館が所蔵する複製資料を中心に、上代～近世までの和本を、装丁の変遷(卷子本～袋綴じ)という視点からたどる展示を行います。

どうぞご覧ください。

二松学舎大学附属図書館(柏) 法人資料室展示

和本の系譜



会 場：二松学舎大学柏5号館 附属図書館内法人資料室

会 期：2026年10月5日(月)～11月30日(月)

期 間：9時15分～16時 入場無料

休室日：日曜・祝日、10月30日(金)、31日(土)、
11月2日(月)